

答 申 書 (案)

～留辺薬自治区内事業の今後のあり方について～

平成21年12月

留辺薬まちづくり協議会

平成21年12月 日

北見市長 小 谷 每 彦 様

留辺蘂まちづくり協議会
会長 山 田 英 雄

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成21年9月9日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、
慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。

【答申にあたって】

留辺薬まちづくり協議会は、平成21年9月9日、北見市が策定する総合計画前期基本計画等における「留辺薬自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、今年4月からスタートした新しい総合計画に掲げられた北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市」を目指すため、それぞれの基本目標に掲げられた分野別の施策ごとに議論を重ねてまいりました。また、自治区別整備方針に沿えるよう、地域課題を確認しながら特色ある自治区づくりを目指すため、留辺薬らしさとは何かをテーマに協議を重ねてきました。

議論の進め方については、既に実施されている事業、及び実施計画で採択されている継続事業37件と第2次実施計画に新たに搭載する予定の新規事業16件について担当から説明を受け、これに対する質疑を行い、さらに委員相互の意見交換を行い、事業の必要性、単に要求だけの提案をするのではなく、北見市の厳しい財政状況を勘案するとともに、事業それぞれの費用対効果などを検討しながら意見を取りまとめたところであります。

答申として述べた地域課題は、いずれも序列をつけがたいものがありますが、自治区として優先的に必要とする事業を明確に位置づけしております。

市長におかれましては、第2次実施計画事業等における留辺薬自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますとともに、下記の事項に配慮していただきますよう答申します。

記

1. 快適で過ごしやすい生活環境を創造することは、市民全ての願いであり、住みたいまちの条件でもあります。安全で安心して暮らすことができるよう、市民生活の基礎を支えるための取り組みを期待します。
2. 産業の振興は、地域の活性化に欠かせません。恵まれた地域資源を積極的に活用し、産業基盤を強化するとともに雇用の場を確保し、地域の特性を生かした産業や産物を北見市の魅力として全国的な広がり結びつけていくことを期待します。
3. 事業の実施にあたっては、主旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し広く理解や協力を得るとともに、多くの市民の参画を求めながら事業に取り組まれるよう期待します。
4. 市の行財政を取り巻く状況は、国の各種制度改革などにより大きく変わってきています。

これらの変化に対応し、限られた財源や人材を最大限有効に活用できるよう、既存の行政システムの見直しと財政の健全化を図り、コスト削減に努めながら、

市民にとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくために、徹底した行財政改革を推進されますよう期待します。

5. これから整備を予定している施設については、市民の意向を反映するため企画立案段階から多くの市民の参画を求めるとともに、既存の施設も含めて、多くの市民が多角的に利用することができる機会づくりなど、ソフト事業にも工夫を凝らし有効に活用されることを期待します。

【留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について】

留辺蘂らしさについて

留辺蘂自治区は、無加川流域の肥沃な原野で営まれる農業と、豊かな森林資源を活かした林業・林産業、そして、温根湯温泉郷を核とした観光を中心に発展してきました。

農業では、作付面積日本一を誇る「白花豆」、林業・林産業では、国内有数の生産量を誇る「経木」のほか、間伐材を活用した集成材や木材加工品、クラフト製品、観光では、温根湯温泉郷を核として年間78万人の観光客が訪れ、オホーツク圏域の玄関口としての役割を果たしております。

今、地方を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況ではありますが、北見市にある豊かな資源を最大限に活かし、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、機能を分担しながら北見市全体の均衡ある振興発展に努める必要があります。

記

1 観光は、オホーツク圏域の西の玄関口という立地条件に恵まれ、明治32年の開湯から100余年を有する温根湯温泉郷を核に発展してきました。

しかし、長引く景気低迷の影響により温泉街の衰退などによる魅力の低下、宿泊客の低迷等多数の問題を抱えていたことから平成20年度から温根湯温泉街再生整備事業が進められておりますが、当協議会としても計画的に着実に進めるべき事業として認識しており、温根湯温泉街に賑わいを取り戻すことを期待しているところであります。

基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

○おんねゆ温泉つつじ公園整備事業

○2条橋周辺広場整備事業

おんねゆ温泉つつじ公園のトイレ整備については、平成22年度より事業に着手されますが、公園利用者からも期待されていることから、着実に整備を進めるべきと考えます。

2条橋周辺広場整備事業については、支障建物の解体も終了し、次年度から本格的な整備にはいりますが着実に整備を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

○留辺蘂自治区河川改修事業

基本目標2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺薬町児童館等移転改修事業

子どもの放課後の過ごし方は時代とともに変化し、遊びの時間や場所も減少し、外遊びから室内遊びへと変わってきています。

現在の留辺薬町児童館は小学校から遠距離にあり、利用者が年々減少するなどの問題があり、また、平成17年に開設した放課後児童クラブは利用者が増えているにもかかわらず施設が狭小で子どもを受け入れられない環境にあります。

子どもたちが自分の自由な意思に基づいて遊ぶことができる放課後の環境を確保するためにも早急に事業を進めるべきと考えます。

基本目標3. 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○保育園整備事業

保育園の整備については、次年度より事業に着手されますが、建設場所や施設規模について園児や保護者に十分配慮しながら進めるべきと考えます。

なお、地産地消の推進のためにも地元木材を活用した施設整備を考慮すべきものと考えます。

基本目標4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

○道営担い手支援畑総事業留辺薬温根湯地区

担い手経営者の育成強化が急務となっている現在、畑地帯における農道を整備し、担い手の強化を図る事業は最優先と考えます。

継続事業として実施しており最優先に実施すべき事業と考えます。

○道営担い手支援畑総事業留辺薬平里地区

担い手経営者の育成強化が急務となっている現在、畑地帯における営農用飲雑用水施設を整備し、担い手の強化を図るとともに地域の水不足を解消する事業は、最優先と考えます。継続事業として実施しており最優先に実施すべき事業と考えます。

○道営担い手支援畑総事業留辺薬大和地区

昨年、大和、平里地区の水道利用組合の水道水から相次いで大腸菌が検出されたことを受け、温根湯以西で同様に利用組合により設置されている松山・花丘・川北・大和・滝の湯地区からも、市の水道施設として早期に整備してほしいとの要望があります。

水は、日々の生活に欠くことのできないものであり、安全で良質な水を安定的

に供給することが求められており、水道未普及地域の整備に向けて水道利用組合と連携しながら計画的な整備を進めるべきと考えます。

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

- まちづくり活動推進地場産品開発事業
- 農業振興施設整備事業
- 農業振興施設整備事業（根々の丘2次拡張分）
- まちづくり活動推進講師派遣・研修事業
- まちづくり活動推進散策マップ作成事業
- 湯の里めぐりレンタサイクル（社会実験）
- 3坪店舗催事イベント（社会実験）
- 山の水族館移転改築
- まちづくり活動推進景観形成事業

温根湯温泉街再生整備事業については既に事業に着手しているものもありますが、地域資源を活かした観光地として魅力ある温泉街形成を目指すため、地場産業の活用や観光施設など官民一体となった取組みを図る必要があると考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 道営明渠排水事業 留辺薬地区

基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

【最優先に取り組むべき事業】

(温根湯温泉街再生整備関連事業)

- 留辺薬町左岸道路改良・舗装
- おんねゆ温泉つつじ公園進入路改良事業
- 無加川河川改修に伴う1条橋延長工事

左岸道路については、事業最終年ということで着実に整備を進めるべきと考えます。

つつじ公園進入路については、次年度より事業に着手されますが関係機関と連携しながら着実に事業を進めるべきと考えます。

1条橋延長工事についても次年度より事業に着手されますが、実施方法について十分協議し着実に進めるべきと考えます。

○留辺薬町営林署北通り道路整備事業

既に事業に着手しており、計画的に整備を進めるべきと考えます。

○温根湯温泉地区簡易水道近代化推進事業

18年度から事業に着手し、次年度の外構工事で事業が終了することから、着実に事業を進めるべきと考えます。

○金華浄水場施設整備事業

水は、日々の生活に欠くことのできない「命」であります。安全で良質な水を安定的に供給するためには、年次計画に基づいて着実に事業を進めるべきと考えます。

【優先的に取り組むべき事業】

- 留辺薬町鉄南5号・10号通り道路整備事業
- 留辺薬町温泉団地3・4・5号通り道路整備事業
- 3・4・5中央通り交通安全対策事業
- 留辺薬町国体通り道路整備事業
- 留辺薬町スポーツセンター通り街路灯補修工事
- 留辺薬自治区草刈装置購入事業
- 留辺薬地区下水道整備事業（污水管渠）
- 留辺薬地区下水道整備事業（雨水管渠）
- 留辺薬下水道管理センター整備事業
- 留辺薬自治区雪寒補助建設機械等更新事業
- 留辺薬自治区歩道除雪車整備事業

【早期に取り組むべき事業】

- 留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業

基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

限られた財源でよりよいまちづくりを実現していくためには、市民と行政がそれぞれの役割を分担するなど協働の姿勢が重要です。留辺薬自治区では、これまで自治会を中心に行政と市民による協働のまちづくりが進められてきましたが、今後においても、あらゆる分野で市民と行政が情報を共有し、協働しながら個性豊かなまちづくりを進めるべきと考えます。

【最優先に取り組むべき事業】

○留辺薬まちづくりパワー支援事業

市民のボランティアやまちづくりへの参加啓発につながる事業として平成19年度より実施され、当協議会も審査に関わっておりますが、今後も市民活動団体へのPRに努めるなど積極的にまちづくり活動を推進すべきと考えます。

【協議会の意見】

○自治区制度の今後のあり方について

合併による地域住民の不安を解消するため北見市独自の方式で、自治区設置条例を制定し、自治区制度、総合支所、まちづくり協議会をそれぞれに設置し、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、それぞれの機能を分担しながら地域づくりを進めてきたところであります。

○今後の地域課題

- 1 留辺蘂自治区内は、留辺蘂市街地、温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区に分かれておりますが、特に過疎化が進んでいる温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区の公共施設を整備する際には、新たな市民ニーズへの対応や利便性の向上を考慮するとともに、幼児からお年寄りまであらゆる世代の人たちが利用することができるよう複合化施設として整備すべきと考えます。

※事業一覧が入ります

【留辺薬まちづくり協議会委員】

[委嘱期間H20. 6. 14~H22. 6. 13]

	氏 名
委 員	飯 田 仁 美
委 員	石 井 加代子
委 員	遠 藤 登志子
委 員	大 江 友 広
委 員	笠 原 信 廣
委 員	加 藤 昭 義
委 員	澤 山 一 之
委 員	菅 波 正 樹
委 員	菅 原 精 一
委 員	長 瀬 順 一
委 員	古 田 亜由美
○副 会 長	前 田 彰 壽
委 員	森 幸 男
◎会 長	山 田 英 雄

50音順